

第46回全国合研 in 福岡 事務局ニュース No.6

2013/6/22

連絡先:福岡県保育センター 福岡市中央区大名1丁目10-25 092-761-5234
http://www.12.plala.or.jp/hoiku/ e-mail:center5234@rose.plala.or.jp

第1回全国合研福岡県実行委員会開催 (実行委員会報告)

5月26日日曜日、第1回福岡県実行委員会を開催しました。実行委員会が始まる前には、第31回福岡集会のDVDを流していると「懐かしい」「〇〇先生、若い」「そうそう、ここ間違っただけで…」と電源OFFにするのが申し訳ないくらいでした。

プログラム

開会あいさつ

実行委員長あいさつ

役員紹介

第40回記念集会DVD視聴

群馬合研の取組みから見たこと

第46回福岡集會事務局提案

参加者紹介



実行委員長 勝山吉章先生

日本は、大増税の道を進んでいる。生活をしていくことが困難になっていく中で本当の保育とはどういうものなのか、成長を保障する保育をどう創っていくのか、保育が問われる時を迎える。本当の保育とはこういうものだ、合研で学び合い声をあげていかないといけないと社会情勢の変化の中で、今までの保育実践をさらに確かなものにしていく作業を合研と共に取り組んでいくことを語られました。

全国保育団体連絡会 水谷さん

子どものことを保育者、保護者、研究者と様々な人が一緒に考えられる研修会。合研の取組みを通して、保育運動の核となるよう保育、子育てをめぐる情勢を伝えながら、みんなでいっしょに「考える」ための第一歩を作っていく。第31回福岡集會では、全自治体から後援をとっていた。これも自治体まわりをし、形にしていた証。保護者、保育者、関係者といっしょに集會を成功させましようと呼びかけました。

群馬保育問題連絡会 事務局次長 石川芳子さん

各保育園に訪問することからスタートし、「子ども子育て新システム」導入反対の運動とともに合研を取組んでいった。実行委員会のときに誰もが保育園訪問できるように模擬保育園訪問を行い、お互いを励まし、力にしていた。群馬県作成のチラシやニュースを保育園訪問時に持参し、案内していった。ひとつの保育園に4回は訪ねようと、園長、保育士で担当保育園を割り振り、「合研」が広がっていくよう進めていった。小さな企画を地域にお願いして開催してもらい、地域実行委員会につなげていく。合研が終わった後も活動が継続されていくことが大切。宝物が残る取組みにしていきたいと思います。

事務局提案

- ① 保育、子育てに関わる団体、個人に呼びかけ各保育園などの団体、地域の実行委員会をつくろう。
- ② 2013年8月10・11・12日の第45回神奈川合研(15,000人集会)に福岡県から150人の参加を。
- ③ 合研から生まれた雑誌「ちいさいなかま」を福岡県で1300冊の購読数を。(4月1日現在1038冊)

第45回全国合研神奈川集會への申込数が目標数の30%です。

至急、申込みをしてください。

申込みをされた方も再度、参加人数を検討してください。

また、他園への誘いかけもお願いします。



第2回全国合研福岡県実行委員会

7月13日 15時土曜日 まつぼっくり保育園にて

1. ミニ学習会 保育センター常任委員 原田秀一さん
2. 8月神奈川集會から福岡へ(福岡集會アピール 内容)
3. 福岡集會での講師候補選び
4. ♪青い空は